

開催概要

ふじのくに-Constructuin推進支援協議会（事務局：静岡県交通基盤部建設支援局建設技術企画課）は、「**新技術交流イベントin Shizuoka 2020**」を開催しました。

このイベントは、建設現場の課題解決が可能な最新技術の現場導入を推進し、生産性の向上に繋げることを目的に、現場ニーズと企業シーズ、企業間のマッチングを図るイベントです。

4年目の開催となる今年度は社会情勢を考慮し、初の**バーチャル会場**を併用しての開催となりました。

バーチャル会場

- 公開日時：令和2年11月2日(月)～9日(月)
- 会 場：特設Webサイト
- 延べアクセス数：約**2,500人**

講演会場

- 開催日時：令和2年11月5日(木)10：00～16：00
- 会 場：しずぎんホールユーフォニア
- 来場者数：約**150名**

開催状況（バーチャル会場）

技術出展

県が提示した5分野12の現場ニーズに対し、課題解決が可能な技術を保有する**39団体が53技術をバーチャル会場に出展しました。**

また、出展団体のうち、23団体の保有技術のプレゼンテーションを特設Youtubeチャンネル上へ掲載しました。

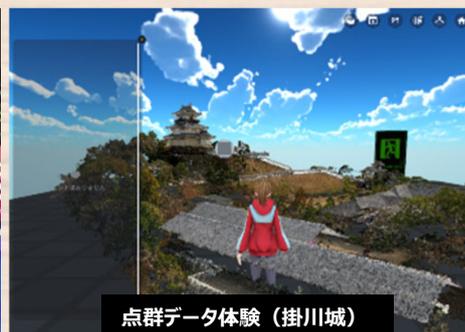
さらに11月5日にはオンライン情報交換会をWeb会議ツール「Whereby」上で実施しました。



技術分野	出展団体数	出展技術数
①ICTを活用した省力化・省人化	19団体	25技術
②新技術の活用による施工、維持管理等の生産性向上	14団体	19技術
③工事現場の安全確保	2団体	3技術
④優れた「県産ものづくり技術」の有効活用	2団体	3技術
⑤建設現場における新型コロナウイルス対策	2団体	3技術
合計	39団体	53技術

ロアトラクション

バーチャルSNS「Cluster」にアトラクション会場を特設し、情報発信を行いました。また11月5日のイベント当日は基調講演の一部（沼倉 正吾 氏）を本会場で同時に実施しました。



開催状況 (講演会場)

□基調講演

- ・演題：『インフラを守る！～ハテクもアナログ必要～』
- ・講師：首都高技術(株) インフラドクター部長 永田 佳文 氏



講演会場の催しは
バーチャル会場にも中継し
延べ約100人が視聴しました！



□Keynote Speaker

- ・演題：第1部『丸わかり！40分で理解するデジタルツイン』 第2部『デジタルツインとXRによるインフラ維持管理』
- ・講師：Symmetry Dimensions Inc. CEO. 沼倉 正吾 氏



□新型コロナウイルス対策展示/プレゼンテーション

- ・特に人々の関心の高い新型コロナウイルス対策技術について会場への3技術の出展及び2技術のプレゼンテーションを行いました。



□静岡県交通基盤部フォトコンテスト表彰式

- ・本年7月20日から8月31日にかけて実施した、「第2回 土木・建築フォトコンテスト」の表彰式を同時開催しました。併せて受賞作品の展示も行いました。



□出展技術の概要説明

- ・特設Webサイトに出展されている新技術の概要について事務局から説明を行いました。



□話題提供

- ・「静岡県の目指すVIRTUAL SHIZUOKA」について話題提供を行いました。



今後に向けて

- ・出展のあった新技術で、現場のニーズに対応可能な技術については、現場導入を検討し、課題の解決や生産性の向上に繋がります。
- ・県といたしましては、今後も産・学・官の連携を深め、優れた新技術が導入される環境の構築に努めてまいります。